

# 佐賀県

たくみらい  
多久未来プロジェクト

自発の力で地域を盛り上げる！



フルーティーで甘口の純米大吟醸「多久」



多久山笠と花火大会の様をライブ配信

取組概要

- 地域の未来を良くしたいと地元農家、蔵元杜氏、料理長など様々な業種のメンバー18人が集い、H30年にプロジェクトを発足。
- 多久市唯一の酒蔵である東鶴酒造とタッグを組み純米大吟醸「多久」を製造販売。収益を活用し、地域の産業に対する支援や、地域を盛り上げるイベントなどの企画運営を行っている。

活動成果

- 日本酒づくりには1口5,000円の寄付を募り同企画に賛同するサポーターが170人を超えて集まった。酒米は地元産を使用し地元農産物の高付加価値に寄与している。  
R3年度と同様、R4年度も1升瓶及び720mlそれぞれ2,000本の販売を見込んでいる。
- 多久山笠・花火大会のライブ配信を行う等、多久市を盛り上げる活動を実施。

おぎのうはくすいしんきょうぎかい  
**小城農泊推進協議会**

佐賀県小城市で持続可能な里山創りに挑戦！



蕎麦打ち・神様巡りなど農家民宿での体験

天山の知られざる巨石群を発見

### 取組概要

- 暮らしや環境を守ってきた里山が耕作放棄地や高齢化等により維持できなくなるとの危機感から「稼げる里山」づくりを進めるためH31年に協議会を設立。
- 協議会の拠点のある天山中腹の石体集落には数多くの神様が存在しており、里山再生・神々の郷プロジェクトとして各種の取組を実施。

### 活動成果

- 耕作放棄地をハーブ園や有機野菜は畑に整備し付加価値の高い加工品を開発・販売。
- 天山南斜面にある伝説の巨石群への登山ルートなどの整備や風習・伝承などを基に映像、散策マップなどを作成。
- 神々をイラストにした「神様台帳」を作成。「神々との約束」という絵本を作成し地元の小学校や図書館に贈呈。
- 国内外の旅行客に向け着付け・抹茶などの文化体験、神様巡りなどの里山体験プログラムを実施。

## 団体部門

けん じっこういいんかい  
プリン県さが実行委員会

## 佐賀をプリン県に！



プリンの情報や特徴をまとめたマップ



イベント時の販売の様子

## 取組概要

- 佐賀県内に数多くある、お店のこだわりや想いの詰まった「プリン」で地域活性化をめざそうと、若者が地域づくりを考えるきっかけを作るイベントに集まったメンバーで令和2年に実行委員会を立ち上げ。
- 県内49種のプリンについて、その情報や特徴をまとめたマップを制作し、観光協会やプリン店をはじめ様々な場所で配布。
- 各種イベント等に出店し、マップに掲載されているプリンの販売を実施。

## 活動成果

- マップを片手に県内をめぐる姿が見られるなど、プリンの消費ひいては牛乳や卵等の消費に貢献。
- マップ掲載店から、「プリンの売り上げが増えた」「若いお客さんが増えた」といった声が寄せられ、各店舗の売り上げに貢献
- 各種メディアに取り上げられ、全国に向けて「プリン県さが」をPR。

プリン県さが実行委員会

佐賀県三養基郡みやき町簗原43-3

Tel : 0942-94-5055 Fax : 0942-94-5055

## Bellybutton (ベリーボタン)

『こうほくふうど』を発信する若手農家



4人の現役子育てパパと20代の若者で活動



「江福食堂」のメニュー

### 取組概要

- お米が売れないという現状の打破と、消費者との交流を目的に、専業農家5人で平成30年に設立。
- 「大人として、親として、農家として」できることに取り組んでいこうという理念のもとに、無人販売所による野菜の販売や、飲食店とコラボした旬の食材を使った限定メニューを提供する「江福食堂」の企画、「大人向け農業体験」等に取り組む。

### 活動成果

- 農業の魅力には「food」と「風土」の2つの側面があると考え、活動理念として「こうほくふうど」を掲げて活動。
- 無人販売所は好調で、「江福食堂」の取り組みはマスコミ等にも複数回取り上げられている。
- 自分達で作った農産物のアピール、販促に留まらず、町の飲食店や学校、企業など様々な人を巻き込み、地域の活性化に農家として取り組んでいる。

Bellybutton(ベリーボタン)

佐賀県杵島郡江北町惣領分5419

Tel : 090-5022-8463

## 団体部門

さがけんりつさかのうぎょうこうとうがっこう  
佐賀県立佐賀農業高等学校 オニオンズ

農家に希(のぞみ)を、家庭に楽(らく)を



クラウドファンディングでの支援に対するお礼



「冷凍しろたま」の最新ラベルと商品

## 取組概要

- 佐賀農業高校の研究グループの1つとして、白石町産タマネギの消費拡大と規格外タマネギの有効活用という課題解決を目標に、農業科学科の3年生3名と2年生4名で活動。
- 「新型コロナウイルス感染症」の影響による外食産業の低迷で、令和2年産白石産タマネギの廃棄量が270トンに上った中、食品ロス削減と多くの消費者に「白石タマネギ」を食べてもらいたいという思いから、「白石町産」のタマネギを7.5mmにカットした「冷凍しろたま」の企画を考案。

## 活動成果

- 令和2年度に佐賀県主催の「佐賀さいこう企画甲子園」で準グランプリを受賞し、企画実現への取り組みがスタート。クラウドファンディングによる商品化に係る資金調達等を行い、加工業者と連携した商品開発を実現。
- 県内外のスーパーで販売を行い、令和3年度は予定していた600パックを大きく上回る5,000パックを販売。多くのメディアにも取り上げられるなど、大ヒット商品となり、現在、商標登録を進めている。

佐賀県立佐賀農業高等学校 オニオンズ

佐賀県杵島郡白石町福田1660

Tel : 0952-84-2611 Fax : 0952-71-5009